

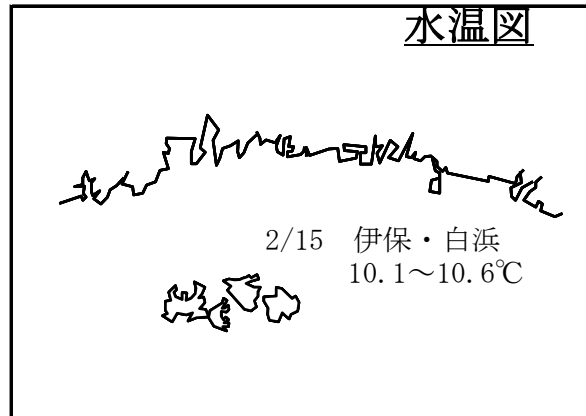
# 兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 14 号)

2024年 2月16日発行  
 兵庫のみ研究所

海域全般に、大型珪藻ユーカンピアが確認されています。西播地先では、依然として小型珪藻のキートセロス、レプトシリンダラス等が多く確認されています。沖合漁場では、キートセロスは確認されますが、発生量は大きく減少していました。窒素は、陸水等の影響が見られる西播地先の地点を除き、 $1 \mu\text{g-at/L}$ 以下の値となっています。

(珪藻、栄養塩ほか)

西播地先では、キートセロス、レプトシリンダラス等の小型珪藻が依然多く確認されており、発生量は前回(2/7)調査と同様である。沖合漁場では、キートセロスは確認されるが、前回調査から大きく減少しており、発生量は少ない状況であった。各海域のユーカンピア発生量(海水1mlあたり)は、西播地先で10~15細胞(前回値:0~15細胞)、沖合漁場で20細胞前後(前回値:2~20細胞)であった。網干漁場では、陸水等の影響により、リンの値が特異的に高くなっていた。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	0.5	1.2	1.8	0.5
	リン	0.20	0.46	0.27	0.38
家島・坊勢	窒素	0.3	0.2	1.4	0.8
	リン	0.38	0.33	0.32	0.42

(2/7) (2/16)

## 栄養塩 (窒素) 図

2024年 2月16日調査

